

核物質防護に関する不適合情報

2022年4月5日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

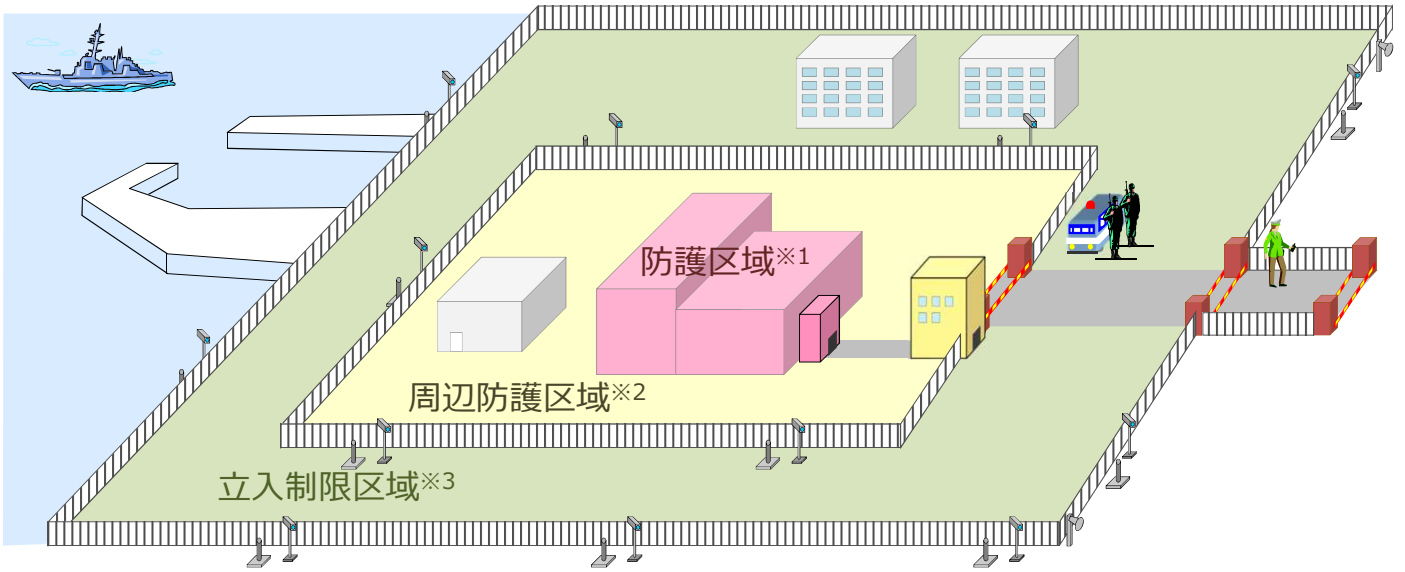
1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	<p>2021年10月5日、周辺防護区域において、複数の侵入検知器と監視カメラが正常に動作しなくなる事案が発生したことから、速やかに監視機能に係る代替措置を実施するとともに、現場確認を開始した。</p> <p>現場確認の結果、信号ケーブルが断線していたことから、信号ケーブルを敷設し直すことで2021年10月7日に全て正常な状態に復旧した。</p> <p>その後の詳細調査の結果、信号ケーブルを内包する管路とプルボックスとの接続部に亀裂が発生し、その損傷箇所から小動物が管路内に侵入し、信号ケーブルをかじったことで断線に至ったことが分かった。</p> <p>対策として、光ファイバースコープを用いて損傷した管路内を調査し、内包されている信号ケーブルが健全であること及び小動物がいないことを確認したうえで、損傷箇所を補修した。</p> <p>また、水平展開として、他の管路とプルボックスとの接続部についても同様の損傷がないかを調査した。その結果、20箇所で大動物が侵入可能な損傷箇所を確認したことから、損傷箇所を補修した。</p> <p>今後の再発防止対策として、管路とプルボックスとの接続部の点検間隔をより短期間に見直し、損傷等が確認された場合には補修することとした。</p>	2021/10/5	核物質防護に係る区画及び信号ケーブル断線のイメージについては、添付資料参照

3. 公表区分Ⅲ 0件

4. 公表区分その他 0件



- ※ 1 防護区域 : 特定核燃料物質を使用・貯蔵する設備が設置されている区域
- ※ 2 周辺防護区域 : 防護区域における特定核燃料物質の防護をより確実に行うため、防護区域の周辺に定める区域
- ※ 3 立入制限区域 : 周辺防護区域の周辺の人の出入りを制限する区域

図1. 核物質防護に係る区画のイメージ

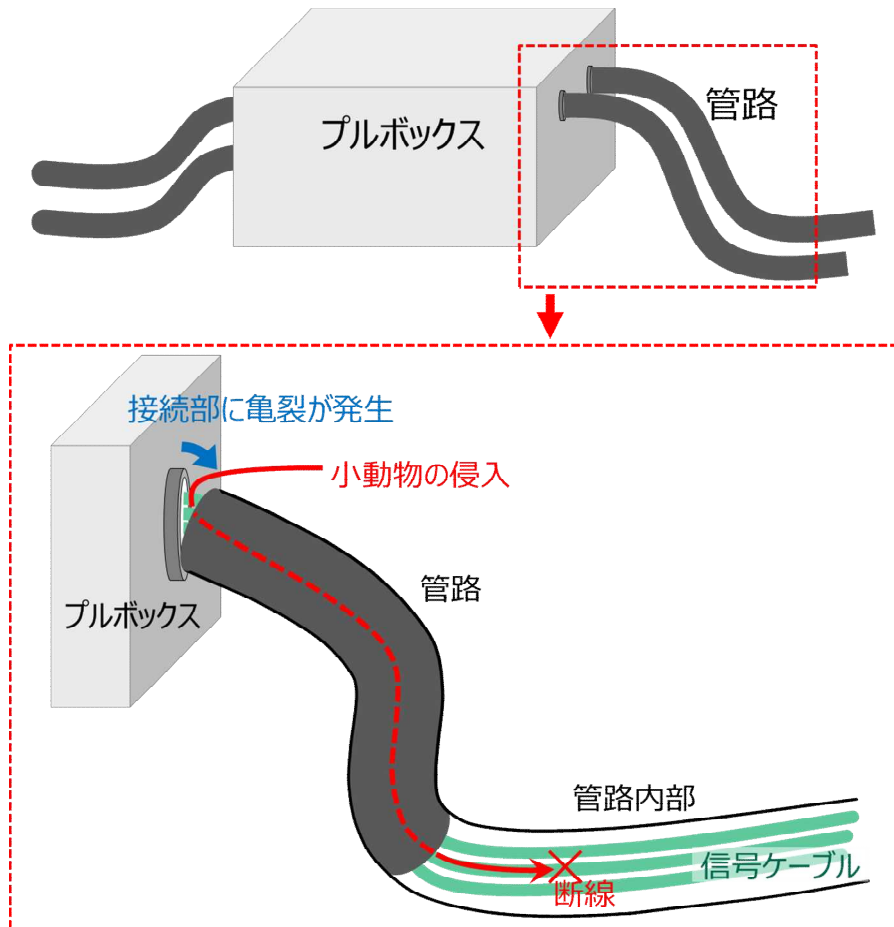


図2. 信号ケーブル断線のイメージ